上越市(仮称)厚生産業会館基本設計の検討　　2014 年 2 月 28 日(金)

第4回市民ワークショップ(公民館施設部会)進行スケジュール

検討テーマ:公民館施設機能の配置について

1. 開会(あいさつ)　(5 分) 15:30～

2. 第3回市民ワークショップのまとめ　(15 分) 15:35～

3. 公民館施設機能の配置案について　(20 分) 15:50～

- 第 3 回市民ワークショップの議論を踏まえた機能配置の改訂案について紹介する

4. ディスカッション(公民館施設機能の配置)　(80 分) 16:10～

1)公民館施設機能の配置について

- 紹介された公民館施設機能配置の改訂案についての評価を行う
- 公民館施設機能の規模と空間相互の関係について考える

2)施設全体の共用機能の配置について

- 公民館施設部会の観点から施設全体の共用機能の配置について考える

3)公民館施設機能の配置についてのまとめ

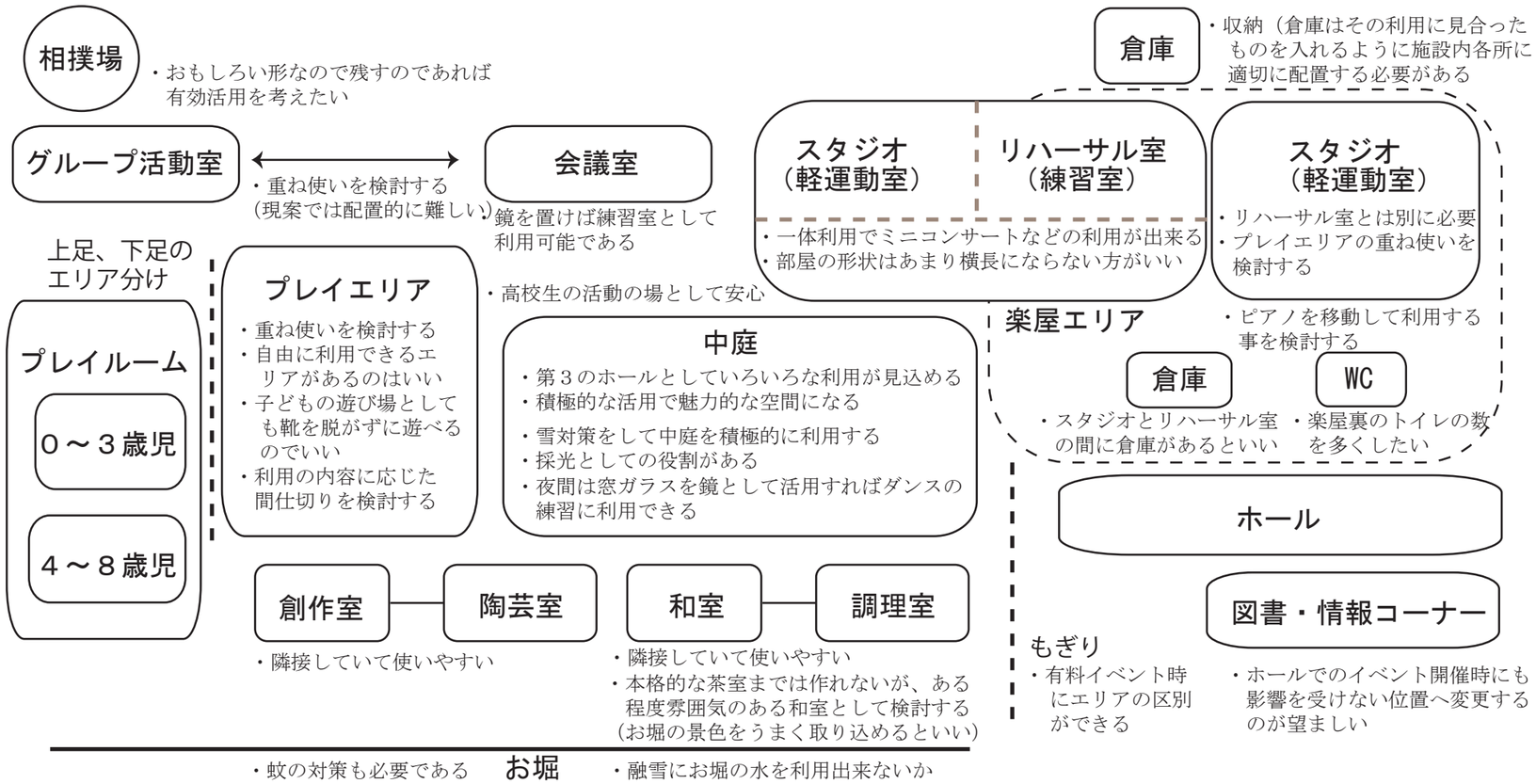
5. 閉会　(5 分)17:20～

公民館部会討議のまとめ

参加者（市民）：安田、富岡、太田、片所、石田、酒井、藤尾、畠山、菊野
（市）　：大坪、北山　（設計者）：福地、延東

ファシリテーター：倉田　　オブザーバー：（市）松井、高橋、山邉
記録係：磯田、園田

検討された施設機能の配置



２つの計画案に対する意見

Ａ２案

- リハーサル室とスタジオの配置が、横長になってしまうと使いづらい
- 大規模なイベントの場合は、ホールの専有エリアが足りなくなってしまう印象である

Ｃ２案

- グループ活動室を会議室として重ね使いするのは難しい
- 中庭に面するガラスの性能は、空調効率や採光にも考慮して判断する
- 中庭を積極的に利用する事は管理面でも好影響である
- 雪の問題を克服できるのであれば中庭は魅力的である
  →アオーレ長岡などでは雪対策はきちんとされている
- 和室をＡ２案のように、茶室の様な本格的な雰囲気をもったつくりにできないか
  →Ｃ２案ではあえてオープンな雰囲気にしている
- 現状のままでは有料公演時は図書、情報コーナーが使えなくなってしまうので改善する
- 舞台裏の出演者用トイレの数が少ないように感じる
- 通常、衣装に着替えた後は出演者が一般用のトイレを使う事はできないのでそれも踏まえて検討してほしい

今後の検討課題

1. プレイエリアや中庭の有効利用
   限られた部屋で多様な活動を行う事になるので､公民館機能の利用者にとっては「重ね使い」が非常に重要である。その中でも面積の大きな空間であるプレイエリアや中庭をいかに有効利用するかが重要になってくる。

2. 部屋の間仕切りや設備・備品の確認
   スタジオとリハーサル室の一体的な利用や、会議室等を音楽、ダンス等の練習室として「重ね使い」する際に重要となるのが部屋の間仕切りの仕方や、鏡やピアノといった設備、備品の扱いである。これらの有無、移動の可否によって部屋の使い方が変わってくるため、今後より詳細な検討をしていく必要がある。

計画案に対する共通した意見

- 空調については設計者と市で協議中だが各部屋には基本的に冷暖房が入る予定である
- 上下足の切り替え場所をより詳細に検討する必要がある
- 会議室の机は不要時に収納するので、各エリアに収納庫は必要である
- お堀の側なので、虫対策として開口部には網戸を設置してほしい
- 創作室と陶芸室が隣り合って配置してあるのはいい
- 合唱の練習をするにはピアノが必ず必要なので、練習室ではない場所を重ね使いで利用する場合にはピアノを移動する必要がある（電子ピアノでは厳しい）
  →ピアノさえ確保してもらえれば、合唱の練習はどこでもできる
- 既存の軽運動室は 200 ㎡ありその広さで使う団体が多いため、最初からリハーサル室とスタジオを間仕切りで仕切らずに１部屋として用意してもいいのではないか
- 現在でも軽運動室の稼働率が高い
- プレイエリアをうまく活用できれば軽運動にもちょうど良い広さである
- 鏡などを用意してもらえるのであれば、ダンスの練習は会議室でもできる
- ダンス練習時であっても、机やイスは部屋の隅に寄せておければいい
- ガラス面は内と外の明暗の加減で鏡としても使えるので、中庭のガラスなどはうまくすればダンスの練習の鏡としても使えそうである
- 建物の色彩を含めた景観への配慮もお願いしたい
- 施設としてのエネルギー計画や環境に対する配慮もお願いしたい